

栃木市一般廃棄物処理基本計画（ごみ・生活排水・災害廃棄物）令和8年3月改訂～概要版～

1 ごみ処理基本計画・生活排水処理基本計画

平成28年3月に「栃木市一般廃棄物処理基本計画（ごみ・生活排水）」を策定し、この計画に基づき一般廃棄物の処理に係る様々な施策を実施してきました。計画の策定から10年が経過する中で、「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals：SDGs）のターゲットの一つとして食品ロス削減が掲げられるなど、循環型社会の形成をめぐる社会情勢は大きく変化しました。

栃木市においては、令和元年東日本台風の被害により膨大な災害ごみが発生し、大規模災害に備えた廃棄物処理体制の確保の重要性が再認識されました。また、人口減少の傾向が続いており、ごみの収集・処理等に係る人材の確保や働き方への配慮が必要とされていること等の社会的情勢の変化を考慮し、計画を見直す必要が生じています。

1）計画期間

計画期間は平成28年度から令和12年度までの15年間であり、本計画は、改定計画として、令和8年度から令和12年度までの5年間を対象期間とします。

H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
計画期間														
計画開始年度						前期目標年度			中期目標年度					最終目標年度
実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画	実施計画

2）基本方針

ごみ処理の基本方針及び施策

1 排出抑制の推進	
1-1 啓発活動の推進	
1-2 家庭・事業所での発生・排出抑制	
1-3 再使用の推進	
2 資源化の推進	
2-1 市民・事業者による資源化の促進	
2-2 市による資源化の推進	
3 適正処理の推進	
3-1 効率的なごみ収集・運搬	
3-2 安全・適正なごみ処理	
3-3 ごみ処理施設の適正な維持管理	
4 不法投棄の防止	
4-1 不法投棄防止の指導・啓発	
4-2 まちの美化の推進	

生活排水処理の基本方針

1 生活排水処理体制の整備
公共下水道の整備が完了し、終末処理場で下水の処理が可能となった区域においては下水道への接続を推進するとともに、整備予定のない区域においては合併処理浄化槽の設置を促進します。
2 適正処理の推進
し尿及び浄化槽汚泥の適正かつ効率的な処理に努めるとともに、処理施設の適正な管理運営と処理量に見合った施設更新を行います。
3 水質汚濁の防止
監視体制を強化し、水質汚濁の防止に努めます。

3）数値目標

ごみ処理の数値目標

◎家庭系原単位(資源ごみを除く)	：令和12年度において、令和6年度と比較して、8.7%削減する。
◎ごみ総排出量	：令和12年度において、令和6年度と比較して、15.2%削減する。
◎資源化率	：令和12年度において、20.2%に向上させる。
◎最終処分量	：令和12年度において、令和6年度と比較して、31.9%削減する。

項目（単位）	実績 令和6年度	中期目標値 (令和7年度)	中期目標値 (令和12年度)	最終目標値 (令和12年度)	
家庭系原単位(資源ごみを除く) (g/人・日)	530	547	534	484	目標修正
ごみ総排出量(t/年)	45,964	50,280	47,228	38,994	目標修正
資源化率(%)	13.9	19.0	20.2	20.2	目標継続
最終処分量(t/年)	4,133	3,005	2,843	2,813	目標修正

生活排水処理の数値目標

◎水洗化・生活雑排水処理率	：令和12年度において、約90%に向上させる。
---------------	-------------------------

	実績										目標
年度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6		令和12
処理率	71.2%	73.1%	75.0%	76.9%	78.3%	79.6%	80.8%	81.9%	82.6%		約90%

4）各主体の役割

○ごみ処理の方策

	行政の役割	市民の役割	事業者の役割
排出抑制の推進	ごみを減らし、リサイクルに努める3R運動を推進します。	ごみを減らし、リサイクルに努める3R運動を実践しましょう。	ごみを減らし、リサイクルに努めていけるような事業スタイルを実践しましょう。
資源化の推進	市民への啓発やごみ処理施設における有効活用により、資源化を推進します。	リユース・リサイクルを心掛けましょう。	資源化を推進しましょう。
適正処理の推進	適正処理を推進し、環境負荷を低減します。	ルールを守ってごみを排出し、適正処理に協力しましょう。	適正処理を推進しましょう。
不法投棄の防止	不法投棄を防止し、環境保全に努めます。	不法投棄は絶対にせず、また、防止に協力しましょう。	不法投棄を防止しましょう。

○生活排水処理の方策

	行政の役割	市民の役割	事業者の役割
生活排水処理	工場や事業所などの排水に対する指導・規制・啓発、定期的な巡回、清掃活動の推進、下水道処理区域における水洗化の向上、水は資源として大切であるということの啓発 など	下水道処理区域内では進んで公共下水道へ接続する、水道処理区域外では、合併処理浄化槽の設置及び適正な維持管理に努める、水環境の保全活動への参加・協力 など	事業排水などの汚水の未処理放流はしない、工場・事業所の排水の適正処理・排水基準の順守、事業活動に伴う水質の環境情報の公表 など

平時から、施設の強靱化、職員の教育・訓練、市民への啓発を行い、本処理計画についても地域防災計画の改定や廃棄物処理体制の変更等に合わせ定期的に見直しを行い、実行性のある計画とします。